

## 2年生演奏修学旅行 in 岡山・京都

台風17号の接近で実施が危ぶまれる中、9月27日から30日にかけて2年生が演奏修学旅行に行ってきました。

幸いにも旅行先の岡山と京都は好天に恵まれ、初日は岡山後楽園の見学と岡山成東高校での合同練習、2日目はくらしき作楽大学のホールで岡山成東高校、くらしき作楽大学・作楽音楽短期大学とのジョイントコンサートが開催されました。

尺八・ピアノ五重奏・弦楽合奏・管弦楽など盛り沢山のプログラムの最後を飾ったのは、4校合同のオーケストラと混声四部合唱による「大地讃頌」。壮大で感動的な演奏となりました。リハーサル・グネプロ・本番を通して、他校の皆さんと意見を交わし合いながら演奏ができたことは、生徒達にとっても貴重な経験になったことと思います。

3日目は京都へ移動し、全員でトロッコ列車や大徳寺大仏殿での参拝を体験。最終日は、班に分かれて金閣寺や清水寺など思い思いの場所をタクシーで巡り、3泊4日の旅行を無事に終えることができました。



## 秋の祭典

まだまだ残暑が厳しい9月4日、5日に秋の祭典が非公開にて開催されました。

1日目の「文化の祭」では各学年の劇やミュージカル、有志による演奏や歌などが発表されました。趣向を凝らした演出に会場は大変盛り上がりしました。



2日目の「体育の祭」では、バスケットボール、バレーボール、ドッジボール、卓球の各種目に分かれ学年対抗で試合を行い、2年生が総合優勝を勝ち取りました。



今年度は校舎内工事のため、夏休み中の準備や練習が難しい状況でしたが、クラスの絆を強め、集中力とパワーを発揮した熱い2日間となりました。

## 響和会懇親会

藝大キャンパスの紫陽花が美しく咲き誇る6月、藝大キャンパスにて先生方と保護者による懇親会を行いました。宮田学長、渡邊理事、澤音楽学部長ご列席の下、萩原校長はじめ日頃お世話になっている先生方にご参加くださいました。藝大生への励ましと温かいお言葉、そして日頃の学校生活について貴重なお話を聞く事ができました。先生方の生徒、藝高への熱い想いに触れ、保護者一同改めて藝高の素晴らしい事を実感しました。限られた時間でしたが、笑いあり、涙あり、拍手ありと始終和やかな雰囲気の中で意義深い懇親会となりました。



## ご寄付のお願い

昨年度いただきました寄付会で、長尾紅木三味線付風呂敷一式(三張)、30Lホールカメラスystem・モニター、1-3号各教室、アンサンブル室Ⅱの夜道テレビ4台の備品を購入させていただきました。ありがとうございました。早速、藝高での教育に役立てられています。中でも21ホール外にあるモニターは、内部の演奏の進行がホール内外からわかり大助かりとの生徒の声です。

しかしながら、後援会費の値上げをいたしましても相変わらず藝高の財政事情は厳しい状況です。藝高の設備も老朽化が進んでおり、教育環境と質を維持できますよう、引き続き皆様のご支援を賜りますようお願いいたします。なお、ご寄付は藝高事務室またはホームページにて受け付けています。

## 公開実技試験

6月、3年生の公開実技試験が3日間に渡り演奏堂と201ホールで行われました。

藝高3年間で唯一の公開の実技試験で、1年生の頃から進出し、強い思いを持って練習してきた人もいます。3年生のクラス全体が臨み、目指す音楽に向かってそれぞれ努力してきました。

毎週のレッスンに加え、管・弦楽器は伴奏者との合奏、また前日にはグネプロもあり、準備を重ねて臨みました。この日に向けての研鑽が認められる真摯で熱い演奏に、惜しみない拍手が送られました。

## 来年度のご案内

### 公開実技試験

平成27(2015)年度

第1日 6月21日(日)

ピアノ

第2日 6月24日(水)

管打楽器・舞楽

第3日 6月25日(金)

弦楽器

## 輝く☆未来の星コンサート

10月13日(月・祝)北区の北とびあ・さくらホールにおいて、藝高と北区立根ヶ丘第一小学校、龍野川紅葉中学校の生徒による「輝く☆未来の星コンサート」が開催されました。

第1部は根ヶ丘第一小学校、龍野川紅葉中学校2校の吹奏楽部によるバラエティー豊かなプログラムの演奏。見事な振り付けのマーチングは大変活気溢れるものでした。第2部は藝高生による演奏。定例演奏会のプログラムよりモーツァルト作曲の雀ミサハ交響曲KV220(196b)の合奏(指揮:高岡健先生、ピアノ伴奏:川地咲由里)と、ドヴォルジャーク作曲交響曲第3番ト長調作品88(指揮:高岡健先生)を演奏しました。演奏前に合奏インストラクターの眞下龍子より、雀ミサが作曲されたのはモーツァルトが今の自分達と同世代の頃だった事、曲に出てくる雀の声のような音に注目して聴いて下さい等の解説があり、お客様も楽しんで聞いて下さったようです。また、ドヴォルジャークの盛大な演奏の後にほど大きな拍手が送られ、演奏会の最後を飾りました。



## 創立60周年記念式典 第26回 藝高定期演奏会

～思いをひとつにして～



平成26年11月8日(土)、創立60周年記念式典と第26回定期演奏会が、東京藝術大学演奏堂で行われました。定期演奏会前に行われた記念式典では、塚原康子校長が、「夢から生まれた学校であり、これからも初発の理念を忘れず21世紀を担う音楽家を育てていきたい。」と、式辞を述べられました。定期演奏会では毎年著名な指揮者を迎え、全校生徒が力を合わせて大曲に挑戦しています。

第一部の邦楽合奏は、中能高成一 作曲「ひぐらし」(山田流等曲・尺八)、松阪春榮 作曲「楓の花」(生田流等曲・尺八)、四世 村屋六三郎 作曲「勸進帳」(長唄・長唄三味線)の3曲で、麗美で趣のある演奏でした。

第二部のオーケストラと合唱では、モーツァルトのミサ曲ハ長調「雀ミサ」KV.220が演奏されました。昨年に続き、世界的マエストロ尾高忠明先生に指揮を、阿部純先生に合唱の指導をして頂きました。合唱は、オーケストラ演奏者以外の全員参加です。旺盛し、専攻外でもレベルの高い見事な歌声を披露しました。最後のオーケストラは、ドヴォルジャークの交響曲第8番ト長調作品88の雄大な曲に挑みました。これら全ての演奏は、若くしてエネルギーに、尚且つ思いが一つになった美しい音色でした。高校生らしい清々しく力強い演奏に、満員の会場は、感動の大きな拍手に包まれました。

また、創立60周年記念企画として、翌9日には同窓会演奏会が行われ、その後響和会が担当し祝賀会を行いました。



## 編集後記

3年生の公開実技試験、2年生の演奏修学旅行、そして全校生が一丸となる定期演奏会等の芸術行事に、創立60周年記念式典と同窓会演奏会も加わり、今年は何年にもない1年になりました。記事の内容も読者委員で吟味し一新したものにさせて頂きました。生徒達がひとつひとつの行事に対して真剣に、そして楽しそうに取り組んでいる姿の一端もお伝えできては幸いです。

第14回の発行にあたり、発行方針に沿ってご協力いただきました皆様へ深く感謝申し上げます。あついでの一冊でした。正業委員の協力を通じて藝高の新しい魅力を発信することができました。とても貴重な経験をさせて頂いた方がありがとうございました。

編集長: 堀江夏  
編集委員: 久保正樹 窪田静香  
太極委員: 鈴木のりこ 野水智佳 柳沢あゆみ 斎藤玲子 重松千尋 日島美和 武野美香 伊藤千奈 吉岡順子

『響和会』とは、藝高専任生および専任職員120名で構成される。昭和29年、藝高創立時に後援会として発足。現在は「響和後援会」として発足し、学校の教育活動の運営と発展に協力する。全国に存在する会員の組織を担う一方、四季の奇観、公開レッスン情報提供等の活動を行う。





尾高 志明先生

海外のお客様に I moved. とおわれ、どこに引越すのと思った  
ら心が動いて事だと分かりました。そして今日まさにそうでした。  
全員でミサを歌えるのはこの学校ぐらいいかないですね…皆さんの  
一体感を強く感じました。  
今、みんな泣いて笑って、それが出来るのは人間だけであって、  
人間は本当に素敵な動物です。  
お客様が、高校生のコーラス、オーケストラだとは思えない、と  
言う感覚が指揮を振っていて背中を感じる事が出来ました。  
藝高は最高です。本当に素晴らしい。(反省会より)

## マエストロ尾高先生の下で活躍した 若き2人のコンサートミストレス

写真で振り返る……  
……第26回藝高定期演奏会



高木 凛々子さん

60周年という節目の年  
に、コンサートミストレスを  
務める事が出来て本当に幸  
せでした。  
みんなの気持ちが一丸と  
なって定期演奏会を迎える  
事が出来て嬉しかったです。  
一生忘れられない最高  
の思い出になりました。



福田 麻子さん

藝高創立60周年という  
記念すべき年に、尾高先生  
と藝高生全員が心を一つに  
して演奏出来た事は本当に  
素晴らしい体験でした。不  
安もありましたが、青楓の  
お蔭で無事コンサートミ  
ストレスを務める事が出来  
ました。関わって下さった皆  
様本当にありがとうございました。



### ピアノ専攻

本校で38名という最も人数が多いピアノ専攻は、全学年とも週1回約1時間の大学構内でのレッ  
スンと年2回の実技試験があります。1年生は前期に先輩たちの演奏を聴き、後期に「バロックまた  
は古典」「自由曲」の2つの課題に取り組みます。2年生の前期は古典派ソナタ全楽章、後期では  
「エチュード数曲(必ずショパンを含む)」、「自由曲」の2課題に取り組み、3年生では前期に公開  
実技試験(一般公開、20分程度)、後期は特に課題の設定はなく自由な組み合わせで20分以内  
の演奏を行っています。その他、副科声楽・副科打楽器(2年生から選択可)・合唱・ピアノ初見な  
ども勉強し、放楽楽器の専攻の生徒の伴奏も引き受けたりと充実した毎日を送っています。  
定期演奏会の合唱では、3年生の代表がインスペクター、パートリーダーとして活躍し合唱全体  
をまとめます。

### 作曲専攻

作曲専攻は現在1名ですが、週1回の専攻実  
技で和声・対位法・コラール・作曲のほか、ピ  
アノ専攻と一緒に合唱とピアノ初見も学びます。  
実技試験は2年生の前期まで和声、後期に対  
位法、3年生で作曲となります。作曲は、まず和  
声を決めてメロディをのせ様々な作曲家の作品  
からヒントを得て楽器を選択します。作曲した  
曲が実際に音になった時が一番嬉しく感じます。



### 邦楽科

現在、第4名、長尺三味線  
4名、尺八3名の計11名です。  
1年生の音楽史の授業は、  
洋楽器専攻の生徒と分かれて  
「日本音楽史」を勉強し、2  
年からはクラス合同で「西洋  
音楽史」を学びます。  
2年生からの音楽理論の  
授業も別室に分かれ、2年生  
では「日本音楽の理論」を、



3年生では「楽典」を学びます。  
3年生からの演奏法の授業も同様、別室に分かれて邦楽専用の譜面を  
五線譜に書き直すなどの勉強をしています。  
週1回、専攻楽器のレッスンの他、オーケストラの時間はピアノ専攻と共に  
合唱に参加しています。

### ヴァイオリン専攻

ヴァイオリン専攻は総勢34名、藝高生徒全体の約4分の1にあたり、  
オーケストラではコンサートマスター、弦楽アンサンブルに於いてもリーダーとして活躍しています。  
それぞれの性格は様々ですが、その立場上除々に皆積極的になっています。また、オーケス  
トラやアンサンブルをする仲間なので苦とても仲  
良しです。  
オーケストラとアンサンブルの授業は水曜  
日、木曜日の6,7時間目にあります。その成果  
として入学式、卒業式や定期演奏会では交響曲等  
を演奏します。3回の定期演奏会を終えて3年生  
はオーケストラを引退します。

1年生の終わり頃から2年生の間にヴァイ  
オリン専攻は皆1度ヴァイオリンを演奏します。ヴァ  
イオリンより一回り大きな楽器に少々苦労しま  
すが、その深い響きに魅力も感じます。



## 特集

藝高は、1学年1クラスですが、の中には  
それぞれ専攻が違ったクラスメイトがいます。  
専攻が変わるとどんなことが違うのか…  
興味がありませんか？  
今回はそれぞれの特色を探して取材しました！

集合写真も声かけをしてパートごとに生徒  
達で工夫して撮影してくれました。それぞ  
れのカラーが出ますね。

### 低弦

ヴィオラ5名、チェロ10名、コントラバス3名で普段からとても仲が良いです。  
週1回のレッスンではソロ曲に取り組んでいますが、水曜と木曜の午後のオーケストラ・室  
内楽の授業では、ひとりではできないハーモニー作りや、全体を支えることなどを意識して練習  
しています。  
アカンサスコンサートにむけてアンサンブルを組んでいる人は、始業前や昼休み、放課後  
を利用して、完成度を上げていくため意見を出しあい、何度も合わせていきます。  
オーケストラ好きも多いので、1年に1度の定期演奏会には特に気合が入ります。  
今年の「雀ミサ」では合唱を担当する人もいますが、ドヴォルジャークでは全員が専攻楽器  
を担当し、ひとりひとり責任を持って演奏しました。

### ハープ専攻

ハープは1年生1名です。弦楽器の中でも  
特別な楽器ですが、オーケストラや室内  
楽、合唱に参加します。オーケストラや室内  
楽の授業にハープ編成がない場合は自主  
練習をしますが、学校の楽器を使用できる  
ので練習環境も充実しています。



### 管・打楽器

現在、管打楽器の専攻は、フルート6  
名、オーボエ1名、クラリネット5名、ファ  
ゴット1名、サクソ1名、トランペット1  
名、パーカッション1名、3学年で計16名  
です。  
昨年度より、藝大での特別授業が始まり  
ました。学部1年生の木管・金管合奏と、管  
打合奏の授業に、藝高のフルート以外の管  
打楽器生が参加させて頂いています。

藝高では管楽器の生徒が少なく、室内楽を組む事が難しい為、藝大のご好意により実現し  
ました。フルート生は藝高の室内楽の授業に参加しています。  
藝大での授業は、多人数で合わせるのも難しさもありますが、アンサンブルの楽しさや、  
オーケストラではない合奏形態も新鮮で貴重な体験です。